

会議結果の公表

附属機関等の名称	新沖縄県史編集委員会
日時	平成29年2月7日(火)14:00~16:00
場所	沖縄県公文書館 講堂
出席委員名	赤嶺政信 新垣安子 大城将保 里井洋一 高良倉吉 高良鉄美 田名真之 豊見山和行 波照間永吉 比嘉悦子 比屋根照夫 宮城晴美 吉浜忍
議題及び報告事項	<p>1 報告事項</p> <p>(1)平成27年度新沖縄県史編集委員会の開催内容</p> <p>(2)平成27年度刊行物及び平成28年度刊行物</p> <p>(3)平成28年度各専門部会報告</p> <p>①各論編『沖縄戦』専門部会</p> <p>②各論編『女性史』専門部会</p> <p>③図説編『前近代』専門部会</p> <p>④各論編『民俗』専門部会</p> <p>⑤各論編『現代』専門部会</p> <p>⑥刊行計画検討専門部会</p> <p>(4)県史料有償頒布について</p> <p>(5)近代沖縄史料デジタル化事業について</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1)新沖縄県史刊行計画の内容について</p> <p>①図説編前近代の刊行年度延期について</p> <p>②資料編及び叢書の刊行について</p>
議事の概要	<p>○各専門部会に対し以下の要望が出された。</p> <p>・今回の女性史編の場合と同様に、今後各巻が刊行された際には、シンポジウムや報告会等を企画し普及に努めて欲しい。</p> <p>○県史料有償頒布について以下の質疑・意見・要望が出された。</p> <p>・広報活動はネットだけに頼らず、チラシを作成したり講座を開催したり、いろいろ取り組んで欲しい。</p> <p>・沖縄戦編の販売部数300部が売り切れた場合の増刷の方法について事務局は考えて欲しい。</p> <p>・文化財課での販売と書店での販売の両方を行うならば、整理しておかなければならないことが多くある。</p> <p>・価格設定の根拠はどのようになっているのか。</p> <p>(回答)価格は教育庁内の県史料有償頒布審査委員会で決定される。価格決定の際は、印刷製本費、県内市町村史・各都道府県史の販売価格、財団で販売していたときの価格、業者による複製販売の価格等を勘案し決定している。</p> <p>○近代沖縄史料デジタル化事業について以下の質疑・意見・要望が出された。</p> <p>・新聞資料以外にデジタル化の計画があるか。</p> <p>(回答)今回は、国会図書館と國學院大学、その他の新聞資料3万9千点あまりのデジタル化を中心に進めたい。</p> <p>・本土メディアが沖縄をどう報道しているかという研究もあり、国会図書館にある県外の新聞雑誌の沖縄関係の記事をピックアップできたらと思う。</p> <p>・ネット上での解像度をどのようにするのか。テキスト化はどのように行う予定か。</p> <p>(回答)保存用は高解像で撮るが、ネット上では解像度を下げ動作をスムーズにする。見出しと記事のキーワードをテキスト化し検索に対応する。</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県教育庁文化財課
問い合わせ先	史料編集班 担当:吉田敬 電話 098-888-3939
備考	